

# せんぼ通信 No.18

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「花は咲けども」

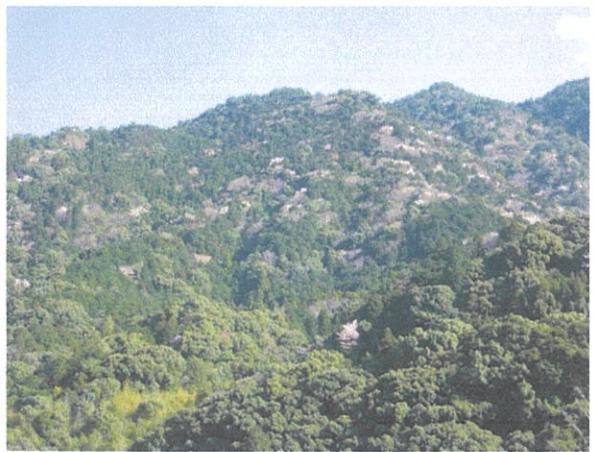
3・11復興ソング…「花は咲く」…名曲です。でも、その名曲に違和感をもった人もいて…、「福島だけは、ちょっと…違うんじゃないか」と山形のホークソンググループ「影法師」さん。原発事故の避難の町を訪れて、歌を作ったと。「花は咲く」…のアンサーソングとして…。  
「花は咲けども」 作詞 あおきふみおさん

【原子の灰が降った町にも変わらぬように  
春は訪れ もぬけの殻の寂しい町で  
それでも 草木は花を咲かせる  
花は咲けども 花は咲けども 春を喜ぶ  
人はなし 毒を吐きだす土の上  
うらめしくやしと 花は散る】

ドキッとする歌詞でも、メロディーはせつなく…  
声のひびきは…避難されている方たちに、より  
そっているよう…。世界にも発信しようと英語  
訳も…。植田あゆみさんが歌っています。  
歌詞が直接わからなくても…せつなさが…。  
「花は咲けども」プロジェクト…だそうです。  
桜の花をながめる時って顔をあげる…子供  
…腰が曲がった人…みんなの顔をそっと…  
空に…天に…向けさせてくれる…桜の花

今夜のおかず何にすっぺ…娘の前でつぶやいた…  
頭の中で考える…あれを作ればこの子が食べないし…  
これは材料がたりないし…と、孫たちの顔をおもいながら、迷っていた。 パッパッとしなくちゃとわかっていても、またまた口にしてしまった。今夜のおかず何にすっぺ…と。  
すると、娘が…「タベは何だったの？」 助け舟かと思い、  
素直に…○○だったよ。「おとといは？」 △△△だよ。  
「その前は？」 ☆☆☆だよと…素直に答えた…ら、「ああ  
…まだ、大丈夫ねえ…3日前のおかず覚えてるから…」。  
えっ？？？…ギヨギヨギヨ…心の中でガクッ…このやりとり  
そうか… そうか… 認知症のテストだったのねえ…  
認・認介護…なあんて、言われないよう…ふんばっぺ…

少し…照れながら…まじめな顔で、「後でいいから…これ、読んでみて…俺、書いてみたんだ…小説…」と、手にわたされた分厚い封筒。  
あらまあ…すごいですね…ゆっくり読ませていただきます。…といいながら、お客様の心の中を、のぞく  
ようで、なんか…ドキドキ…。  
お話はふる里のスキー場が舞台。  
偶然出会った、都会のすてきな女性のきれいな交流…。  
うんうん…そうか、わかりましたよ  
こんな女性が憧れなのですね。  
古希をすぎても、ますます…趣味  
いっぱいのお客さま。  
いいですよね…小説の中くらい…  
大好きなイモ焼酎をのみながら…  
次もすてきな女性を書いて下さい。  
奥さまも、ご公認のはず…だって、  
空想の女性ですもの…



熊野のヤマザクラ 撮影・幸次郎